

親子歴史講座

江戸時代の旅体験—日時計と桜の図鑑をつくろう—

期 間	平成 28 年 7 月 31 日（日）・8 月 7 日（日）	2 日間
時 間	10：00～12：00	
会 場	講堂	

〔事業目的〕

夏休みに親子で歴史に親しむとともに、親子の対話の機会を提供する。

〔開催趣旨〕

多くの人々が旅に出かけるようになった江戸時代の中後期は、太陽を使って時刻を知る日時計や、ガイドブック・ガイドマップの役割を果たす道中記が旅人の必需品になっていた。本講座では、当館所蔵の今井金吾コレクションに所収されている日時計を教材にして、実際に組み立てて使用することで当時の旅人の気持ちを追体験してもらう機会を提供した。また、区内大井に江戸時代に咲いていた桜が掲載された図鑑を和風風に製本することで、地域の歴史に親しんでもらうことを目的とした。

〔講座内容〕

第 1 回「桜の図鑑をつくろう」 受講者数 14 組 30 名

内 容：講義「江戸時代の植物図鑑と大井」では、区内大井所在の西光寺に咲いていた桜が、江戸時代の植物図鑑である「桜品」（国立公文書館・東京都立中央図書館所蔵）に掲載されていることを紹介した。その後、「桜品」を印刷した教材を色鉛筆で彩色し、紐で綴じて和風風に製本した。

講 師：富川 武史（品川歴史館学芸員）

第 2 回「日時計をつくろう」 受講者数 16 組 34 名

内 容：当館所蔵今井金吾コレクション所収の「諸国行程大日本道中指南車」に掲載されている日時計を印刷した教材を配布し、組み立てた。その後、品川歴史館庭園にて日時計を実際に使用し、時刻を調べた。

講 師：富川 武史（品川歴史館学芸員）